

新型コロナウイルスワクチン

接種費用は無料！

どんな流れ？

効果は？

副反応は？

こんな人は接種できません

- ☑ 他のワクチンを2週間以内に接種
- ☑ 明らかに発熱（37.5℃以上）
- ☑ 重い急性疾患にかかっている（ひどい風邪症状や胃腸炎症状など）

接種の日程など相談
（健康保険課 健康づくり係）

接種1回目



3週間（21日）あけて

2回接種することで
望ましい効果がえられます

接種2回目



接種後

感染対策は
いままで同様
継続をお願いします。



2回目は接種できません

- ☑ 1回目のワクチン接種で
アナフィラキシー

接種後も感染対策を！！

- 何年も効果が持続するのかはまだ不明
- 多くの人がワクチン接種完了するまで時間がかかる

ワクチンの効果って？

（ファイザー社）

- ☑ 重症化予防効果あり
- ☑ 高齢者への有効性も高い

発症予防効果

95%

発症するリスクが 1/20

未接種
100
接種
5

100人中95人に効くという意味ではなくて接種した人の発症率が接種しなかった人の発症率より95%少ないという意味

●他のワクチンだと
インフルエンザワクチン50% / 麻疹ワクチン95%

新型コロナワクチンは非常に効果の高いワクチンです！

ワクチンの副反応って？

副反応はワクチン接種が原因で起こる反応のことです。

頻度は日本人が特に多いということはありません。1回目より2回目接種後により強く起こりやすいですが、十分な免疫をつけるには2回接種が望ましいとされています。また、このワクチンを接種しても人の遺伝子に影響が出ることはありません。

いつ出る？

接種した1～2日後に副反応が出現することがありますが、ほとんどは3日以内に回復します。

特に2回目接種後は発熱を含めた副反応が起きやすいので、接種当日と翌日は、可能なら予定を空けておくことをおすすめします。

どんな症状？

主に接種部位の痛み・だるさ・頭痛・筋肉痛・発熱などがあり、発熱以外に悪寒や関節痛が出る場合も。接種直後の痛みはそれほど強くありません。発熱時は解熱剤を使っても構いません（ワクチンの効果は下がりにません）。解熱剤はアセトアミノフェンを含むものがおすすめです。

主な副反応

- 接種時の痛み
 - だるさ
 - 頭痛
 - 筋肉痛
 - 寒気
 - 発熱
 - 接種部位の腫れ
 - 関節痛
 - 吐き気
- 1～2日後に出ることがある

●副反応の相談は、沖縄県新型コロナウイルスワクチン専門相談センターへ ☎ 894-4856

お問い合わせ：健康保険課 健康づくり係 ☎ 966-1217